

2022年11月以降

寂聴・記念会関連のできごと

12月

天台寺での法話をまとめた『愛ことば』（岩手日報）が刊行される。

2023年

4月1日

徳島新聞連載の評伝をまとめた『瀬戸内寂聴物語』（柏木康浩著 徳島新聞社）が刊行される。

8日

徳島県立文学書道館で「寂聴 美のコレクション展」（5月28日まで）が開催される。22日、関連イベントで太田治子氏講演会「寂聴さんと美の世界」が開催される。

5月15日

瀬戸内寂聴記念会主催で「寂聴を詠む」俳句募集を行う（8月15日まで）。

黒田杏子氏に相談して企画を進めたが、黒田氏が3月13日に急逝され、選者は「藍生」ゆかりの今井豊氏、藤岡値衣氏、佐滝幻太氏に依頼する。9月選考、10月発表。

19日

瀬戸内寂聴記念会メンバーで寂庵訪問。主はいないが雨に濡れた白いカルミアの花

が門の上から迎えてくれた。

7月13日 NHK財団主催「たくさんの愛を、ありがとう 追悼 瀬戸内寂聴展」が仙台市で（8月7日まで）、11月3日には盛岡市で（翌年1月8日まで）開催される。記念講演瀬尾まなほ氏（寂聴秘書）。

9月29日 寂聴の短編集『ふしだら・さくら』が新潮社より刊行される。

30日 京都の大垣書店主催で柏木康浩・鎌田東二のトーク「瀬戸内寂聴における文学と宗教」が京都文化博物館で開催される。

11月3日 「寂聴忌朗読会」開催。『美は乱調にあり』『諧調は偽りなり』をもとに、没後100年にあたる伊藤野枝の生涯を台本化し朗読する。出演 森君代、川端恵美子、松尾清美、齋藤礼子、森裕子。文学書道館ギャラリーにて。

9日 「寂聴」2号発行。午前10時より、新町川水際公園ICCHORAの前で3回忌セレモニー。「場所——中洲港」を参加者で朗読する。午後、寂聴忌句会を文学書道館にて開催する。

11日 鎌田慧講演会「美は乱調にあり 大杉栄没後百年、現代社会への問い」を文学書道館ギャラリーで開催する。